

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算支出科目 款：労働費 項：職業訓練費 目：職業訓練費

事業名 **新**国際たくみアカデミー移住者支援事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 労働雇用課人材育成係 電話番号：058-272-1111 (内 3125)

E-mail：c11367@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,002 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	1,002	0	0	0	0	0	0	0	1,002
決定額	1,002	0	0	0	0	0	0	0	1,002

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

国際たくみアカデミーは、実践的な技能・技術や専門知識を学ぶ公共職業能力開発施設として、建築科・住宅建築科においては、建築士、大工の養成を行っているが、入校生の確保や地域連携が課題となっている。

このため、美濃加茂市が移住・定住用のプラットホームとして活用している所有する古民家において、「DIYワークショップ」「木工セミナー」を展開し、移住・定住者への支援を行い地域振興に貢献するとともに、国際たくみアカデミーの知名度向上を図り入校生の確保につなげていく。

(2) 事業内容

①DIYワークショップ (年2回実施)

移住・定住者が、国際たくみアカデミーの指導の下、古民家の一部を国際たくみアカデミーの生徒と協働して再生作業を行うことで、大工作業・左官作業の技術を習得する。

②木工セミナー (年2回実施)

移住・定住者が、国際たくみアカデミーの指導の下、間伐材等を利用したプランター等の木工製品を生徒と協働して作成する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県負担 10/10

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	51	外部講師費用 (@4,200×3h×4回)
旅費	19	岐阜市・美濃加茂市往復 (@4,662×4回)
消耗品費	687	材料費等
役務費	245	土壁処分費、郵便等
合計	1,002	

決定額の考え方

事業評価調書

■ 新規要求事業

□ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

・国際たくみアカデミーの職員の技術及び訓練で生徒が取得した技術を、岐阜県への移住・定住者への支援に活用することで、国際たくみアカデミーの知名度向上を図り入校生の増加につなげる。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前	指標の推移	現在値	目標 (毎年度)	達成率
建築科 入校者数	22人 (R2)		22人 (R2)	20人	110%
住宅建築科 入校者数	15人 (R2)		15人 (R2)	20人	75%

○指標を設定することができない場合の理由

(前年度の取組)

・

(前年度の成果)

・

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い 	
(評価) ○	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により離職者が増加する中で職業訓練の重要性は高まっており、国際たくみアカデミーにおいて、技術力を活かした地域貢献を行うことで知名度向上を図り入校生確保につなげていく取組みの必要性は高い。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある 	
(評価) ○	<p>国際たくみアカデミーの所在地である美濃加茂市と連携して実施する事業であり、地域貢献や知名度向上を効率的に取り組むことができる。</p>

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 <p>移住・定住者の支援、たくみアカデミーの知名度向上のためには、事業への参加者を増やすことが必要である。</p>
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか <p>参加人数や参加者の満足度、国際たくみアカデミーの入校者数の推移等をもとに、事業の継続の要否を検討していく。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせて実施する理由や期待する効果 など</p>	

